

【経営指標】

指標の分類 経営指標 算出式		指標の意味	【計画】				【実績】				
			R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末	
			経営の健全性・効率性								
経常収支比率 (%) = 経常収益額÷経常費用額×100		「経常損益」 ：料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表します。	105.1	102.0	101.8	100.8	116.7				
累積欠損比率 (%) = 累積欠損金÷(営業収益-受注工事収益)×100		「経営の健全性」 ：営業収益に対する累積欠損金の割合であり、過去の経営状況(累積欠損金)を含む経営の健全性を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
流動比率 (%) = 流動資産÷流動負債×100		「支払能力」 ：1年以内に支払うべき債務に対して、支払うことができる現金等がどの程度あるかを表します。	514.3	570.7	588.6	610.5	590.8				
企業債残高対料金収入比率 (%) = 企業債現在高合計÷料金収入×100		「債務残高」 ：料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
料金回収率 (%) = 回収単価÷1㎡あたり原価×100		「料金水準の適切性」 ：料金で回収すべき経費について、どの程度料金で賄えているかを表します。	106.2	102.5	102.2	101.0	-112.0 →120.5				
1㎡あたり原価 (円) = (経常費用-ガス売上(LPG)-営業雑収益-附帯事業収益-営業外収益)÷供給量		「費用の効率性」 ：供給量(託送)1㎡あたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表します。	23.5	23.6	23.3	23.4	-22.3 →20.8				
ガス普及率 (%) = 供給戸数÷供給区域内戸数×100		「施設の活用度」 ：供給区域内における本市ガス供給戸数の割合を表します。	69.7	69.4	69.2	68.9	69.5				
老朽化の状況											
有形固定資産減価償却率 (%) = 有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価格×100		「施設全体の減価償却の状況」 ：有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表しており、施設の老朽化度合いを示しています。	77.5	78.1	78.6	79.1	78.4				
管路経年化率 (%) = 法定耐用年数を超過した管路延長÷管路総延長×100		「管路の経年化の状況」 ：法定耐用年数を超過した管路延長の割合を表しており、管路の経年化度合いを示しています。	81.2	83.0	84.5	86.1	80.9				
管路更新率 (%) = 更新管路延長÷管路総延長×100		「管路の更新投資の実施状況」 ：当該年度に更新した管路延長の割合を表しており、管路の更新ペースや状況を把握できます。	0.10	0.10	0.10	0.08	0.11				

「料金回収率」、「1㎡あたり原価」のR3年度末の実績値を訂正しました。